

九州観光ビジネスプランコンテスト 2023

事業計画書

提出日 2023年 10月 30日

学 校 名	佐賀大学		
学部・学科名	経済学部経済学科		
チ ャーム名 (個人参加の場合は任意)	チーム亀山	エントリーNo.	3番

1. 取り組みテーマについて(なぜこのテーマに取り組んだのか)

・現状および課題認識

福岡県は観光に行きたい都道府県ランキング 2022 で 5 位と上位にあり、旅行先として注目されている。また、福岡空港から福岡の中心部まで 10 分で行け、アクセスの良さは日本一である。しかし、福岡県の課題は観光地が太宰府天満宮・海の中道・屋台など限れており、コンパクトさが故に一度訪れたら、すべて巡れてしまい、もう一度訪れたいと思ってしまうことが難しいところであると考えます。

2. 課題解決に向けた新たなアイデアについて

私はもともと観光に対して深い興味がなかった。しかし、旅行系 You Tuber を見始めて、日本各地の知識を得ることで、実際に自分でも観光に行きたいと思えるようになった。また、知識を得てから、観光をする際に街歩きをするときの視点が新しくなり、より一層楽しめるようになった。すべての観光客にあらかじめ予備知識を身に着けたうえで観光をしてほしいが、旅行前は持ち物の準備やホテルの予約で忙しかったり、その地域の知識を集めることは簡単ではなかったりする。そこで、アイデアとして予備知識がない状態でも楽しめる観光を提案する。

3. 九州や地域社会への影響について

・新たなアイデアが九州や地域に及ぼす効果(誘客、活性化等)はどうか。

福岡の観光をゲーム感覚ででき、得られる知識が難しい内容ではなく豆知識なので様々な人が楽しめる。チェックポイントを解禁することにコレクター性があるので、また福岡に観光しに行きたいと思える。チェックポイントを福岡県内各地に設定することで、今までは注目されていなかった地域、場所にも目を向けられるようになる。福岡県民であっても、今までにはなかった視点で福岡を楽しむことができる。

4. 事業化に向けたビジネスモデルについての具体的な紹介

・商品・サービス・ノウハウなどを分かりやすくご説明ください。

・「事業収入(提供金額)」「費用(事業コスト)」「告知手法」等を可能な限り記述してください。

福岡の地理的特徴、歴史、豆知識、見どころ位置情報を用いたスタンプラリー形式で得られるアプリ。決められたチェックポイントに近づいたら地理的特徴、歴史、豆知識、見どころを解禁でき読むことができるようになる。チェックポイントごとにポイントを設定し、穴場であるほどポイント数が高くなる。貯めたポイントは、アプリと連携しているお店で使用することができる。

事業収入はアプリ内広告や、協力店からの協力金から集める。費用について、アプリでは位置情報を用いるので制作費は 200 万から 500 万円かかると考えられる。観光客が多く利用されると思われる福岡市営地下鉄の福岡空港駅と博多駅を中心に広告を出す。福岡県民向けには福岡市が主催しているイベントでアプリの宣伝を行ったり、アプリを用いることを目的とした街歩きイベントを行ったり、福岡県内の中高で福岡市内へ遠足に行く際にアプリを用いてもらったりすることで広める。福岡の豆知識は福岡市のホームページを参考にする。

<https://www.city.fukuoka.lg.jp/promotion/mamechishiki/index.html> (豆知識 2023 年 10 月 30 日時点で 194 個)

5. 事業化後の目標、継続可能性や将来のイメージなどについて

まずは、福岡市内のみで開始し、軌道に乗れば福岡県内に拡大し、将来的には九州内の他県でも開始する。